

事業概要説明シート

事務事業番号 30941

事務事業名	通学路等安全対策事業		
事業開始年度	平成10年度～	担当部署	学校教育部教育相談課

根拠法令	通学路等安全対策事業実施決裁
実施方法	☐ 直営 ☐ 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)
	☒ その他(一部直営(報償金)、一部シルバー人材センターへ委託)
目 的 (何のために)	枚方市立学校園の幼児・児童・生徒の通学路等の安全確保及び学校園内での安全管理を図る。
対 象 (誰・何を対象に)	枚方市立学校園の幼児・児童・生徒
事業内容	・枚方市立小学校(16校)の通学路の危険箇所に対して、登校時30分、下校時1時間30分等で交通専従員、交通指導員を配置。 ・学校園においては、一般の安全指導の他、防災・防犯訓練や交通安全教室等を実施。
類似事業	なし
事業の必要性	通学路における安全対策は、枚方市立学校園の幼児・児童・生徒の安全確保のために必要である。

コ ス ト													
		H22年度決算				H23年度決算				H24年度当初予算			
		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
	正職員	0.30	人	2,434	千円	0.30	人	2,427	千円	0.30	人	2,400	千円
	再任用職員		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
	非常勤職員等		人		千円		人		千円		人		千円
	人件費計(A)	2,434			千円	2,427			千円	2,400			千円
直接経費(B)		19,360			千円	19,675			千円	19,872			千円
総事業費(A+B)		21,794			千円	22,102			千円	22,272			千円

財源内訳					
	H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算
国庫支出金		千円		千円	千円
府支出金		千円		千円	千円
受益者負担 (使用料等)		千円		千円	千円
その他		千円		千円	千円
一般財源	21,794	千円	22,102	千円	22,272 千円

平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	交通専従員配置経費(報償金)	12,337 千円
	交通指導員配置経費(報償金)	3,721 千円
	交通指導員配置経費(委託料)	3,340 千円

事業概要説明シート

事務事業番号 30941

事務事業名		通学路等安全対策事業			
事業開始年度	平成10年度～		担当部署	学校教育部教育相談課	
活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
	① シルバー人材センターへの委託	人	8	8	11
	② 交通安全週間における登下校指導実施校	校	45	45	45
	③ 夏季研修会へ参加人数	人	39	40	48
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費／シルバー人材センターへの委託人数	円	2,420,000	2,459,375	1,806,545
	② 事業費／指導実施校	円	430,222	437,222	441,600
	③ 事業費／参加人数	円	496,410	491,875	414,000
成果目標 (目標とする成果)	通学路において交通量が多く、信号機のない危険な道路横断箇所に交通専従員・交通指導員を配置し、児童の通学安全確保を図る。今後も、欠員が発生する場合には新たに補充し、継続的な通学安全確保を図っていく。 また、交通専従員・交通指導員の交通安全研修を夏季に実施し、通学安全確保の充実を図っていく。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	北河内地区の他市では、交野市・大東市を除く4市で交通専従員等の配置を行っている。 実施の4市中、寝屋川市を除く3市はシルバー人材センター等に随時委託もしくは全面委託という形態をとっている。				
特記事項	平成24年度より、交通専従員配置事業及び、小学校通学安全事業の交通専従員・交通指導員の時間単価を、982円から931円に改定した。				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	今後も引き続き、幼児・児童・生徒の登下校時の安全確保のため本事業を行う。			
一次評価結果	・事業内容の充実及び、有効性の検討が必要 ・委託による事務効率の向上についての検討が必要				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	市教育委員会が警察や道路管理者と合同で実施している通学路の安全点検の結果を踏まえて、実効的な配置となるよう検討を行う。			